

平成30年度

予算実施計画書  
(概要版)

国立大学法人 京都工芸繊維大学

# 平成30年度 予算実施計画書（概要版）

平成30年3月22日  
役員会決定

## 1. 基本的な考え方

平成30年度の予算編成に当たっては、本学の「財務基本方針」に沿って策定することとし、第三期中期目標・中期計画や各種補助金等における評価指標（KPI）の確実な達成に向けた予算編成を基本とする。

その上で、当面の収支見通し等を踏まえつつ、運営費交付金における基盤的経費の削減に対応するための管理的経費の抑制、教育研究活動を支える基盤的経費の確保、本学の機能強化促進に向けた戦略的取組への予算配分の重点化を図る。

## 2. 予算編成フレーム及び方向性

「ミッション再定義」における本学の強みや特色、社会的役割を踏まえつつ、本学の機能強化を推進することを前提として、重点課題や政策課題に対応した以下の予算編成フレームに基づき、予算編成を行う。

### ★ 平成30年度予算編成フレーム

- (1) 教育研究基盤の確保
- (2) 教育研究のグローバル化・活性化に向けた重点的支援
- (3) 社会連携・地域貢献の推進
- (4) 学生支援の強化・充実
- (5) 運営基盤・ガバナンスの確立
- (6) 教育研究環境の整備・充実

なお、厳しい財政状況にあるため、可能な限り運営・事業経費の節減を図りつつ、教育研究の質確保のための基盤的経費や学生支援経費を維持するとともに、本学が重点戦略に掲げるグローバル・イノベーション・コミュニティ機能強化に係る戦略的取組に係る経費の重点化を図る。

### 3. 当初収入・支出予算の概要（運営費交付金等対象予算 当初予算ベース）

#### 【 収 入 】

（単位：千円）

区 分	平成30年度	平成29年度	増▲減額	増減率
運営費交付金収入	4,795,969	4,859,861	▲ 63,892	-1.3%
学生納付金等収入	2,531,373	2,537,187	▲ 5,814	-0.2%
国立大学法人機能強化促進費補助金収入	31,668	14,886	16,782	112.7%
合 計	7,359,010	7,411,934	▲ 52,924	-0.7%

※ 上記の他、受託事業等収入 810,724 千円、業務達成基準適用事業（複数年度事業）経費未執行（見込）分 185,616 千円、平成 28 年度決算における目的積立金取り崩し分 20,846 千円、施設整備費補助金等 187,760 千円、収入予算の総額は 8,563,956 千円。

また、「退職手当」及び「年俸制導入促進費」の一部が、運営費交付金収入として年度途中に追加措置される見込み。

#### 【 支 出 】

（単位：千円）

予算編成フレーム	平成30年度	平成29年度	増▲減額	増減率
(1) 教育研究基盤の確保	5,509,891	5,626,759	▲ 116,868	-2.1%
(2) 教育研究のグローバル化・活性化に向けた重点的支援	601,740	569,801	31,939	5.6%
(3) 社会連携・地域貢献の推進	73,543	76,400	▲ 2,857	-3.7%
(4) 学生支援の強化・充実	263,667	259,121	4,546	1.8%
(5) 運営基盤・ガバナンスの確立	774,739	766,130	8,609	1.1%
(6) 教育研究環境の整備・充実	135,430	113,723	21,707	19.1%
合 計	7,359,010	7,411,934	▲ 52,924	-0.7%

※ 上記の他、受託事業等支出 810,724 千円、業務達成基準適用事業（複数年度事業）経費未執行（見込）分 185,616 千円、平成 28 年度決算における目的積立金取り崩し分 20,846 千円、施設整備費補助金等 187,760 千円、支出予算の総額は 8,563,956 千円。

また、「退職手当」及び「年俸制導入促進費」の一部を「(1) 教育研究基盤の確保」として追加で支出する見込み。

#### 4. 当初支出予算の主要事項

※1. 金額（ ）書きは対前年度比を示す

### (1) 教育研究基盤の確保 5,510 百万円 ( ▲117 百万円減 )

※その他、業務達成基準適用事業未執行分(見込) 51 百万円を別途計上

#### ○大学の本来的活動を支える教育研究基盤の確保

##### 〈 基盤教育費 360,599 千円 ( 166 千円増 ) 〉

教育の質を確保するため、昨年度同額の学生当単価に収容定員を乗じることにより算出した学生当教育経費を計上する。

また、複数課程開講科目支援経費や基盤教育学域における教育経費、研究生経費や非常勤講師に係る経費(手当・旅費)を昨年度同額計上する。ただし、非常勤講師に係る経費(手当・旅費)については、平成30年度改組に伴う増加分に対応するため、1,300千円追加計上する。

##### 〈 高度人材育成機能強化に係る中期的プロジェクト外関連事業費 50,926 千円 ※業務達成基準適用事業 (H28-33) H29 未執行 (繰越) 予定分※外数〉

第3期中期目標・中期計画を踏まえ実施・展開する「実験・実習環境整備事業」「グローバル人材育成事業」「学部・大学院一貫教育推進事業」に係る事業費を計上する。

##### 〈 基盤研究費 126,200 千円 ( 2,800 千円増 ) 〉

研究基盤を確保するため、昨年度同様、教員一人当たり積算単価を一律400千円計上する。

また、文部科学省における卓越研究員制度により採用された教員については、上記研究費に加えて1,000千円を追加計上する。

##### 〈 基盤研究費 (繰越分) 98,560 千円 ( 9,603 千円増 ) 〉

研究活動の計画的・継続的な展開を図るため、基盤研究費の平成29年度繰越分(繰越承認額)を計上する。(※年度内の執行額に応じて変動の可能性あり)

##### 〈 人件費 4,605,018 千円 ( ▲51,261 千円減 ) 〉

職位比率プロポーシヨン改革の推進を図ることとし、常勤教員数を最大304名として積算した人件費について、人事院勧告に基づく給与改定による人件費増加分も考慮の上、所要見込額を計上する。この他、機能強化経費(機能強化促進分)において別途60,000千円を確保する。

##### 〈 退職手当 295,875 千円 ( ▲78,445 千円減 ) 〉

文部科学省措置額を計上する。なお、今後文部科学省において各大学の所要見込額を精査のうえ、年度途中に追加配分される見込み。

##### 〈 年俸制導入促進費 23,639 千円 ( 269 千円増 ) 〉

文部科学省措置額(平成30年度予定人数の半期分)を計上する。なお、今後文部科学省において実際の導入人数の実態を踏まえ、年度途中に調整される見込み。

## (2) 教育研究のグローバル化・活性化に向けた重点的支援

602 百万円 ( 32 百万円増 )

### ① 大学の抜本的機能強化の促進

#### 〈 機能強化経費 (機能強化促進分) 392,228 千円 ( 40,326 千円増 ) 〉

世界一線級ユニット招致や海外ブランチ整備、国際連携専攻設置、産学協働による学際融合博士学位プログラム「デザイン・テック・ラボ」の展開等による「グローバル機能強化」を実行するため、文部科学省から措置された予算額を計上する。

また、平成 29 年度より運営費交付金と一体として、各国立大学の強み、特色、社会的役割を踏まえた中長期的な構想に基づく機能強化の促進を図る取組に対して文部科学省より措置された「国立大学法人機能強化促進費補助金」を計上する。

#### 〈 機能強化経費 (共通政策課題分) 19,881 千円 ( ▲4,735 千円減 ) 〉

将来的に共同利用・共同研究拠点となり得るような先端的かつ特色ある研究を推進する研究所等の形成・強化に資する取組として文部科学省から措置された予算額を計上するとともに、マッチングファンドとして学内負担分を計上する。

### ② 機能強化を支える戦略拠点の活動基盤確保

#### 〈 大学戦略推進機構系拠点運営・事業経費 81,196 千円 ( ▲1,692 千円減 ) 〉

大学戦略推進機構の各拠点における戦略的取組実施に係る運営・事業経費を計上する。

#### 〈 大学戦略推進機構系拠点運営費 (繰越分) 5,411 千円 ( ▲88 千円減 ) 〉

大学戦略推進機構の各拠点等における計画的な事業展開を図るため、拠点運営費の平成 29 年度繰越額 (繰越承認額) を計上する。

### ③ 教育研究活動の戦略的・重点的な推進

#### 〈 教育プロジェクト支援経費 20,984 千円 ( ▲2,942 千円減 ) 〉

文部科学省等の補助金事業等に係る継続的な展開を図るため、教育プロジェクト支援経費を計上する。なお、配分額の決定は、総合教育センターにおいて事業の実績や有効性等を十分検証のうえ行う。

#### 〈 研究推進・発信力強化経費 24,939 千円 ( ▲4,110 千円減 ) 〉

科学研究費助成事業で不採択となった課題のうち、有望な研究に対する支援や若手研究者への研究支援、研究成果等の社会への発信力強化や研究分析ツールの導入、外部資金受入促進を図るための方策実施のための経費を計上する。

なお、配分額の決定は、研究戦略推進本部等において有効性等を考慮したうえで行う。

#### ④研究活動活性化のためのインセンティブ付与

##### 〈 研究活動活性化インセンティブ経費 18,000 千円 ( 1,000 千円増 ) 〉

研究活動を活性化させるため、昨年度に引き続き、間接経費が措置される外部資金を獲得した教員に対し、間接経費の 10%相当額の研究費を配分する制度及び、教員が執筆する学術論文の学術誌への投稿料、掲載料、論文別刷の購入費用、並びに芸術作品等の発表費用を一定の条件下で支援する制度を継続運用するための必要な経費を計上する。

##### 〈 研究活動活性化インセンティブ経費(繰越分) 13,052 千円 ( 485 千円増 ) 〉

研究活動の計画的・継続的な展開を図るため、研究活動活性化インセンティブ経費の平成 28 年度繰越分(繰越承認額)を計上する。(※年度内の執行額に応じて変動の可能性あり)

#### ⑤若手研究者の育成および女性研究者への支援

##### 〈 若手研究者・女性研究者支援経費 20,349 千円 ( ▲505 千円減 ) 〉

若手研究者及び女性研究者の研究推進を図るため、研究活動に係る支援経費を計上する。

#### ⑥新任教員の教育研究活動への支援

##### 〈 新任教員特別支援経費 5,700 千円 ( 4,200 千円増 ) 〉

新任教員が就任直後から教育研究に邁進できるよう環境整備を図るため、平成 30 年 4 月 1 日以降採用予定者分に係る研究スタートアップ経費を計上する(配分単価は昨年度同額を計上)。

### (3) 社会連携・地域貢献の推進 74 百万円 ( ▲3 百万円減 )

※その他、業務達成基準適用事業未執行分(見込)を別途計上

#### ○社会連携・地域貢献活動の推進及び地域貢献に資する人材育成

##### 〈 機能強化経費(機能強化促進分) 70,950 千円 ( 5,560 千円増 ) 〉

地域自治体や産業界との協働による“地域”から“世界”を見据えた「人材育成機能強化」を実行するため、文部科学省から措置された予算額を計上する。

##### 〈 地域連携活動を展開するキャンパス運営経費 2,593 千円 ( 1,448 千円増 ) 〉

地域課題解決における拠点として活用する「福知山キャンパス」、「京丹後キャンパス」における運営・施設維持管理費を計上する。

##### 〈 福知山キャンパス機器・備品等整備事業費 9,127 千円

※業務達成基準適用事業(H29-30) H29 未執行(繰越) 予定分※外数

## (4) 学生支援の強化・充実 264 百万円 ( 5 百万円増 )

※この他、入学料免除枠として7百万円を収入見込額から控除予定

### ①授業料及び入学料免除枠等の確保による修学機会への配慮

#### 〈 授業料・入学料免除枠 226,908 千円 ( 3,638 千円増 ) 〉

昨今の社会情勢等を踏まえ、修学機会の確保の観点から、文部科学省より措置された「授業料・入学料免除枠」を計上するとともに、大学独自の免除枠を追加計上する。

#### (1) 運営費交付金算定上の授業料免除分 199,108 千円 ( 3,638 千円増 )

文部科学省より措置された授業料免除実施経費(免除率:学部及び大学院修士課程 12.0%、大学院博士課程 13.0%)を計上する。

#### (2) 大学独自の授業料等免除分 27,800 千円 ( 同 額 )

本学独自の授業料免除を実施するため、以下の事業について昨年度同額の予算額を計上する。  
なお、事業毎の配分額の決定については、学生支援センターにおいて、免除対象人数等の実態を踏まえて行う。

### ②就業意欲向上のためのキャリア形成の支援

#### 〈 キャリア形成支援経費 9,672 千円 ( 2,793 千円増 ) 〉

社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う観点から、学生支援センターにて企画・実施するキャリア形成のための事業経費を計上する。

### ③学生の活動支援

#### 〈 学生支援経費 20,087 千円 ( ▲1,885 千円減 ) 〉

入学者の多様化の進展を踏まえ、留学生、障がい学生の支援を行うとともに、学生の課外活動支援を行うための経費を計上する。

#### 〈 学生と教員の共同プロジェクト実施経費 7,000 千円 ( 同 額 ) 〉

コンテスト参加や出展、課外活動等、教員のサポートを受けながら学生が主体的に取り組むプロジェクトに対する支援経費を計上する。

## **(5) 運営基盤・ガバナンスの確立 775 百万円 ( 9 百万円増 )**

### **①学長のリーダーシップによる大学改革の推進**

**〈 学長裁量経費 85,000 千円 ( 同 額 ) 〉**

学長のリーダーシップにより大学運営及び教育研究の戦略的展開による大学改革を推進するため、トップマネジメントを実行する上で必要な経費を計上する。

### **②危機管理等リスクマネジメントの推進**

**〈 危機管理等安全対策経費 7,454 千円 ( 437 千円増 ) 〉**

災害等発生時等における学生・教職員の安全確保に対応するため、危機管理・安全対策に必要な経費を計上する。

**〈 予備費 20,000 千円 ( 同 額 ) 〉**

突発的な事故や事案が発生した場合の危機管理等対応経費として、予備費を計上する。

### **③教育研究活動を支えるセンター等機能の確保**

**〈 教育研究基盤機構系センター等事業経費 26,909 千円 ( ▲4,409 千円減 ) 〉**

教育研究基盤機構系センター等における事業経費については、内容を精査した上で継続事業を優先しつつ、必要な経費を計上する。

**〈 教育研究基盤機構系センター等運営費 (繰越分を含む) 58,205 千円 ( ▲1,710 千円減 ) 〉**

教育研究基盤機構系センター等における運営費については、運営上の基盤的経費を計上する。  
(※繰越分については年度内の執行額に応じて変動の可能性あり)

### **④教職員の資質向上**

**〈 教職員資質向上推進経費 3,025 千円 ( ▲22 千円減 ) 〉**

教職員の資質向上及び業務処理能力の強化を図るため、大学運営・教育研究支援等に係る計画的な研修に係る経費を計上する。

### **⑤大学運営基盤を支える業務管理機能の確保**

**〈 一般管理費等 (一般管理費(事務部門運営費含む)・光熱水料) 492,574 千円 ( 5,648 千円増 ) 〉**

一般管理費等については、可能な限り経費節減に努めることとした上での所要見込額を計上する。なお、光熱水費の一部については、大学運営管理経費 (間接経費等) において別途確保する。

**〈 管理部門等事業費 81,572 千円 ( 8,665 千円増 ) 〉**

管理部門等の事業経費については、緊急性・必要性の高い事項を精査した上で計上する。



## **(6) 教育研究環境の整備・充実 135 百万円 ( 22 百万円増 )**

**※その他、H28 決算における目的積立金取崩分として 22 百万円、業務達成基準適用事業未執行分(見込)として 135 百万円、施設整備費補助金として 167 百万円を別途措置**

### **①キャンパス環境の整備・充実**

#### **〈キャンパス環境整備経費 54,576 千円 ( 21,909 千円増 ) 〉**

本学の教育研究機能の維持・向上を図るため、施設整備に係る経費を計上する。

### **②学内共同利用施設・設備の維持・運営**

#### **〈教育研究設備維持運営費(繰越分を含む) 33,994 千円 ( 48 千円増 ) 〉**

学内共同利用設備のメンテナンス等に係る維持運営経費を計上するとともに、平成 29 年度からの繰越分(繰越承認額)を計上する。(※繰越分については年度内の執行額に応じて変動の可能性あり)

#### **〈図書館機能強化推進経費 46,860 千円 ( ▲250 千円減 ) 〉**

図書館機能の強化を図る観点から、電子ジャーナル・学術文献DBの充実や環境整備等、図書館機能強化・環境改善のための事業費を計上する。